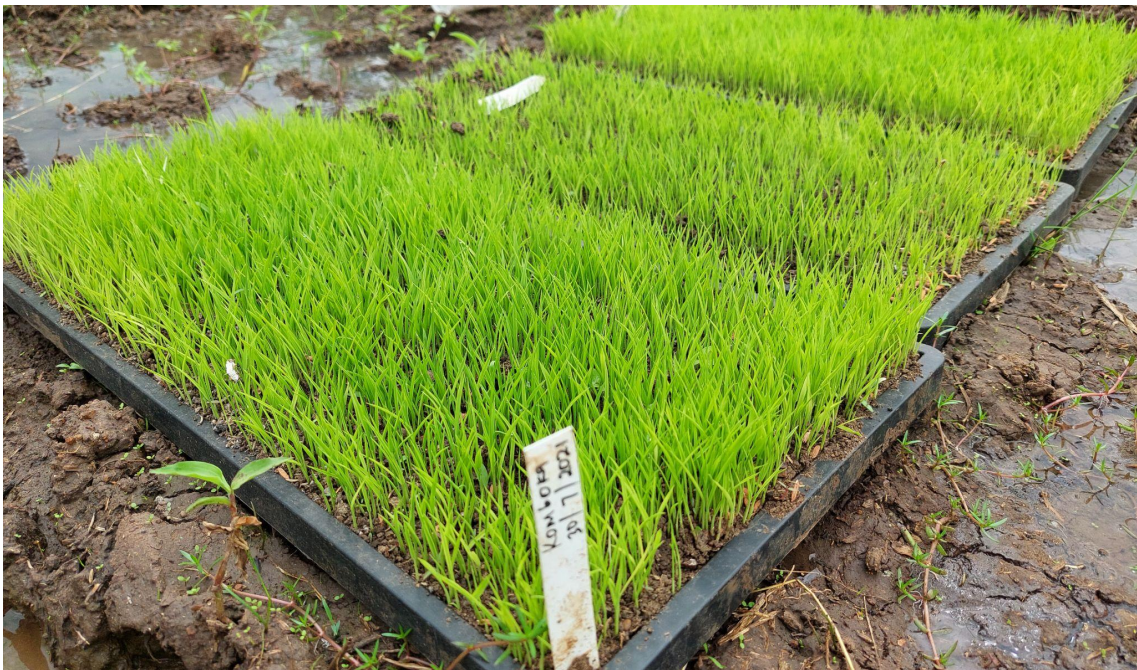


PRESS RELEASE

2021年9月9日(木)
株式会社 唐沢農機サービス

唐沢農機×商船三井×KiliMOL、 アフリカケニアで初となる「田植えの機械化」を実現

株式会社唐沢農機サービス(所在地:長野県東御市、代表取締役社長:唐澤 健之)と、株式会社商船三井(所在地:東京都港区、代表取締役社長:橋本 剛)が運営するKiliMOL株式会社(所在地:東京都港区、代表取締役社長:大山 幹雄)が日本製農機をアフリカのケニアに輸出するプロジェクト第二弾として、2021年9月10日より田植機を中心とした「田植え文化」を輸出。ケニアで初となる機械による田植えが実現する。ケニア現地でのデモンストレーションは9月30日まで。日本国内の記者向けにアフリカと日本でのリアルタイムの取材にも対応する。



▼ケニアの田植えはすべて「手作業」

過去の輸出実績調査の結果、ケニア国内に「田植機」が輸入された形跡が確認できなかった。また、2021年3月に行われたケニアでのデモンストレーションでのヒアリングにおいても、田植えに関してはすべて「手作業」であり機械化への要望が高いことがわかった。ケニアに限らずアフリカの人口は今後増加傾向であり、2050年までに21億人程度まで増える見込み。食料需給の観点からも農業の機械化ニーズは強い。

▼機械だけでなく、「技術」も輸出

日本の田植機の性能は高く、中古在庫も多く流通している。そのため、輸出することは難しくはないが、田植機を輸出しただけでは田植えはできない。田植機を使った田植えには、「苗箱に育苗された稲苗(上記の写真)」が必要である。つまり、「育苗技術」も一緒に輸出し

なければ、機械化はされない。今回、9月の田植えデモンストレーションに先駆け、事前に苗箱や育苗に関する資材を輸出。現地スタッフへの育苗指導も行った。現地での育苗も順調であり、いよいよ9月中旬より、ケニアで初となる「田植えの機械化」を行う。

▼今回の田植えデモンストレーションについて

デモンストレーション期間中に、WEB会議等にて現地との取材にも対応する。日本とケニアの時差は約6時間であり、日本の午後であれば現地からの情報をリアルタイムでお届けすることが可能。詳しくはお問い合わせ下さい。0268-62-5262 担当: 神林

【期間】2021年09月10日～2021年09月30日

【実施場所】アフリカケニアのムエア(Mwea)地域、IRRIGATION AGRICULTURAL DEVELOPMENT(MIAD) CENTRE及びブラ(Bura)地域

【実施内容】育苗指導、田植機によるケニア初の田植え、日本製トラクターの実演、日本製コンバインによる稲の収穫、日本製精米機及び石抜機による精米・石抜、他

▼本プロジェクトについて

本プロジェクトは商船三井とKiliMOLと唐沢農機の中古農機輸出プロジェクトとして始まった。しかし現地調査の結果、中古だけでなく新品農機のニーズがあることがわかり、日本の農機メーカーを巻き込んだ日本の新品農機のアフリカ進出支援も開始。第一弾の2021年3月のデモンストレーションでは、トラクターやコンバインなどの日本製農機の輸出を行い、現地の主要メディアも取り上げるなど、現地の「機械化」ニーズの高さを実感。今回の第二弾では、「田植技術と機械」を輸出し日本の「田植え文化」を輸出する。

【株式会社唐沢農機サービスについて】

農機具修理業を事業化し平成4年創業。農機具の販売・修理・再生を主要事業とする一方、ウェブサイト制作、マーケティング、コンサルティングなどを行うインターネット事業を運営。また、全国300軒超の農機具販売店が加盟し、累計取引額が17億円を超える農機具流通支援サービス「ノウキナビ」を運営。農業×ITによる先駆的農業関連ビジネスを展開している。2021年2月には、八十二銀行、八十二キャピタル株式会社、群馬銀行、SMBCグループを始めとする複数の金融機関から、第三者割当増資、融資契約を含む1.9億円の資金調達を実施、企業成長速度をさらに加速している。

商号: 株式会社唐沢農機サービス

代表取締役社長: 唐澤 健之

本社住所: 〒389-0502 長野県東御市鞍掛846-1

事業内容: 新品農業機械販売・中古農業機械販売・

農業機械修理・農業機械再生・コイン精米機運営・インターネット事業

(WEBコンサルティング・マーケティング支援・農機流通支援サイト・

ECサイト・情報メディア運営)

ウェブサイト: <https://www.karasawanouki.co.jp/>



【株式会社商船三井について】

1884年設立の800隻を超える世界最大級の船隊を運航する総合海運企業。資源・エネルギー・原材料・製品など、さまざまな物資を輸送することで世界中の人々の暮らしや産業を支えている。また、フェリー事業、内航船事業、曳船事業、倉庫・海事コンサルタント業、不動産事業、客船事業なども展開している。



商号: 株式会社商船三井
代表取締役社長: 橋本 剛
本社住所: 〒105-8688 東京都港区虎ノ門2丁目1番1号
事業内容: 海運業・総合輸送業(資源輸送、エネルギー輸送、製品輸送等)
ウェブサイト: <https://www.mol.co.jp/>

【KiliMOL株式会社について】

商船三井が全額出資にて2021年5月に設立。越境ECサイト「kilimol.net」を活用した農機具の販売・輸送事業を運営。農機、農業技術、農業流通の仕組み導入により、アフリカの農業改革を支援し、食料事情の改善、農業振興に貢献することを目指す。

商号: KiliMOL株式会社
代表取締役社長: 大山 幹雄
本社住所: 〒105-8688 東京都港区虎ノ門2丁目1番1号
事業内容: 越境ECサイトを活用した農機具の販売・輸送事業
ウェブサイト: <https://kilimol.net/>



【本件の問合せ先】

株式会社唐沢農機サービス
担当: 神林・若林
電話: 0268-62-5262 メールアドレス: info@karasawanouki.co.jp

以上